小説集「秦の憂愁」後記

豊島与志雄

青空文庫

戦乱の期間中、私は幾度か中華民国に旅して、おもに上海に滞留した。そして彼地の有力な精神の代表者の一人として、秦啓源を捉えた。その生活や思想や人柄に、或は逆に私の方が捉えられたのかも知れない。――この秦啓源のことを、私はだいたい本書の作品のなかで述べた。

戦後の激発期に、東京では実にさまざまな精神動向が見られた。その精神動向の代表的なものの一つとして、私は波多野洋介を捉えた。その思想や人柄に、或は逆に私の方が捉えられたのかも知れない。――この波多野洋介のことを、私はだいたい本書の作品のなかで述べた。

斯くして、この短篇集のなかには、二人の主要人物が浮きだしてくる。一人は中国人であり、一人は日本人であるが、共に、動乱期の苦悩を通りこし、周囲に反撥して新たな生活を志向している。この意味で、初めはそうでもなかったのだが、いつしか、私自身にとって非常に親しい人物、謂わば他人とは思えない存在となってしまった。この二人に対して私は愛着を持つ。

この二人が、たまたま東京で出会って親しくなり、ささやかな仕事を始めることになった。それからまだ日も浅く、どんなことになるか分らない。――だが、これだけで、この短篇集は一つの連続した物語と看做されても宜しい。上海のことや波多野邸のことが余りに多く書かれてるけれども、それはつまり二人の環境なのである。

今後、この二人のことを私が再び物語ることがあるかどうか、単に他の作品の背景としてでも物語ることがあるかどうか、それは約束出来ない。すべては二人の行動と私自身の心の動き

とに懸っている。今のところ、私はただ静かに二人を見守っていたい。

青空文庫情報

底本：「豊島与志雄著作集　第六巻（随筆・評論・他）」未来社
　　1967（昭和42）年11月10日第1刷発行
初出：「秦の憂愁」東京出版
　　1947（昭和22）年4月
入力：門田裕志
校正：Juki
2013年5月7日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

小説集「秦の憂愁」後記

豊島与志雄

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/